



5月29日(日)、NHKのだ自慢が文化会館より生放送されました。

主な内容

- 小池市長の市政報告
 - ・市内すべての小中学校に冷房を入れることになりました…………… ②③
- 2016 加茂市成人式…………… ④⑤
- 自転車交通安全教室を開催…………… ⑥
- 中学生武道授業見学会…………… ⑦
- 春の叙勲、歯の健康…………… ⑧
- 加茂の風土記「若宮中学校校歌」…………… ⑩

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室 20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆 個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育施設を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。

市政報告

加茂市長 小池清彦

加茂市内の全ての小学校と
中学校に冷房を入れることにな
りました。

加茂市内の全ての小学校七校と
中学校五校、合わせて十二校に冷
房を入れることになりました。

五月二十四日(火)に開かれた加
茂市議会で予算が可決されました。

予算は、平成二十八年度と二十
九年度の債務負担行為で、総額三
億五千四百九万円です。

内訳は、小学校分が二億四百十
九万円、中学校分が一億四千九百
九十万円です。

所用経費総額三億五千四百九万
円のうち、国(文部科学省)から
約三分の一の一億千五百八万四千
円の補助金が来る予定です。

経費支払の初年度である平成二
十九年度に支払う額は六千五十万
六千円です。起債即ち借金をする
額は、一億七千八百五十万円で、
十五年(初めの二年は据置きで、

元本の償還はありません。)かけて返債しますので、平成三十二年以後の毎年の元本の返済額は、千三百七十三万円です。

国の補助金が認められると二十九年の四月頃通知が来る予定です。それから契約の手続きに入り、工事を行うこととなりますので、実際に冷房が使えるのは、二十九年の九月頃になるものと思われます。

補助金の獲得には、競争があるようですので、まず以て補助金の獲得に力を尽くしたいと思えます。

2016 加茂市成人式



五月三日、文化会館で成人式が開催されました。

今年の加茂市成人式該当者は、平成七年四月二日から平成八年四月一日までに生まれた人たちで、平成二十三年三月に市内中学校を卒業し、現在市内に在住する三百二十二人です。会場の大ホールは、各中学校区ごとに分かれた二百三十五人が出席して式典を行いました。

平成七年のできごとは、阪神淡路大震災（一月）、地下鉄サリン事件（三月）、アメリカ・メジャーリーグで野茂英雄選手が活躍、パソコンソフト「ウインドウズ95」発売などがありました。

式典で小池清彦市長は、新成人へ東洋哲学の易経から「天行は健なり、君子以て自彊して息まず。」と、論語の中から「仁以て己が任と為す。」の二つの言葉を贈りお祝いしました。

また、市長は、現在の大問題である少子化について、育児休業三年の補償を国で行うことで、皆さんが安心して子育てができるようになり、北欧と同じように少子化を脱却することができると話しました。そして、今の平和憲法を守ることが大切で、「平和憲法があったからこそ、日本は海外派兵をさせられずに済ん



市内小中学校卒業・在住の312人のうち235人の新成人が参加



司会の安藤翔太さんと高橋恒太さん



二十歳の誓いを述べる椎谷祐太さん



小池清彦加茂市長



山田義栄加茂市議会議長



だ。憲法改正は海外派兵、そして徴兵制へとつながっていくことになる。今、皆さん自身がしっかりと声を出して、平和憲法を守っていただきたい。」とあいさつしました。

新成人を代表して、椎谷祐太さんが「社会を担っていく一員として、自分がどうあるべきかを考え、進んでいこうと思います。」と二十歳の誓いを述べました。

このあと、各卒業中学校ごとに記念撮影し、産業センターでの立食パーティーで同級生との再会を楽しみました。



式典後に産業センターで立食パーティー



各中学校卒業ごとに記念撮影



自動車・トラックと 自転車・歩行者 交通事故を再現

スタントマンを活用した
自転車交通安全教室



五月十七日、勤労者体育センターで、自転車に関係する交通事故や通行トラブルを実演することにより、事故の怖さや交通ルールを守る大切さをもう一度確認してもらうため、市内全中学生を前にスタントマンが実演する自転車交通安全教室が開催されました。新潟県警察本部が主催するこの交通安全教室は、加茂市では初めて行われます。

スタントマンとして実演したのは、シャドウ・スタントプロダクションの皆さんで、自転車・車・トラック・ベビーカーなどを使って、事故を再現しました。時速40kmで走行する車と歩行者との衝突やトラックの左折巻き込み事故の再現では、車のフロントガラスが真っ白にひび割れたり、トラックに踏みつぶされた自転車を、会場の全員が息をのんで注視していました。スタントマンたちは、ユーモアを交えて自転車マナーを解説し「自転車も歩行者から見れば、スピードのある車と同じです。ここでの再現は実際の事故に基づいたもので、どこでも起こりうることです。もう一度、自分の交通マナーを確認してください。」と交通安全を呼びかけました。

生徒を代表して須田中学校三年の酒井俊輔さんが「見ていただけで、事故の怖さを感じました。自転車で乗って、事故に遭わない・起こさないように、もう一度、自分の乗り方を振り返ってみます。」と交通ルールとマナーを守る気持ちを発表し、交通安全教室を終りました。

中学生保健体育 武道授業

6種目から選択 全中学生が見学 10月に授業実施

十月に行われる保健体育武道授業で、選択する種目の見学会が、五月十日、文化会館で開催されました。

平成二十二年度から全国に先駆けて始まった武道授業は、今年で七年目となります。市内の五校が合同で行う授業は、事故やけがを防ぐため、各種目の指導者から講師を務めていただいています。

選択種目は、柔道、剣道、合気道、空手道、柳生新陰流剣道、なぎなたの六種目で、市内の全中学生から授業で指導する講師の模範演技を見学してもらいました。この見学会のあとに、希望する種目を選択することになっています。



柔道



合気道



空手道



剣道



なぎなた



柳生新陰流剣道

春の叙勲

春の叙勲に、加茂市から地方自治功労の功績により高橋禧雄さんが受章されました。受章についての感想をお聞きしました。

旭日双光章

(地方自治功労)



高橋 禧雄さん
(新町 2・72歳)

高橋さんは、平成二十七年五月まで市議会議員を五期務められました。受章の知らせには「まさか私という思いばかりです」と話されました。

五期二十年間の議員活動はどれも記憶に残るものですが、印象深いものは、県央地域の市町村合併に関するものでした。市民・議会・行政が様々な場面で議論を交わし、いろいろな研究を重ねたできごとだったといえます。

また、長く取り組んできたこと

は、昔の面影を残した街づくりです。生まれ育った加茂の雰囲気があれば、街の景観だけでなく人と人とのつながりも大切にして一層住みやすいまちになるのではないかと。帰省やUターンのきっかけの一つになってくれるのではないかと考えます。地元商店街の街並み整備でも、木造の雁木や電線の埋設など新たな試みもあり、これからも続く整備事業を見守っていきたいとのことです。

昨年の任期満了で議員活動を引退。今は趣味の野球、カラオケなどの活動に「時間を取られる」とのことですが、その一つ伝統文化子ども教室で加茂松坂の笛や唄を指導しています。加茂のお祭りや運動会でなくてはならない加茂松坂の笛や唄を続けてくれる子供たちがいることがとても嬉しいと話していただきました。

春季消防演習 (5月15日)

演習には、消防団三百九十四名と加茂地域消防署が参加して実施されました。加茂小グラウンドでは、各分団の通常点検、各部の部長三十二名による部隊訓練、消防署救急隊及び救助隊による校舎二階からの救急救助訓練、住民参加の訓練として消火器を使った初期消火訓練が行われました。大通りでの分列行進のあと、河川敷右岸から放水訓練で演習を終了しました。初期消火訓練に参加した青海町一丁目の皆さんからは「消火器は意外に噴射の勢いがあることを知りました。」と感想を話していました。





■「二次う触」を

ご存知ですか？

治療した歯に再発した

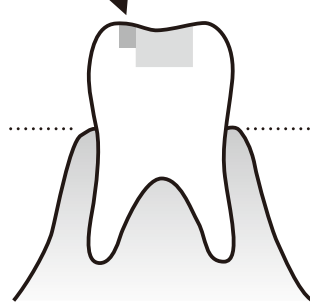
むし歯です。

むし歯は、子どもだけのものと思っていませんか？実は、大人には大人のむし歯があるのです。そのひとつが「二次う触」です。

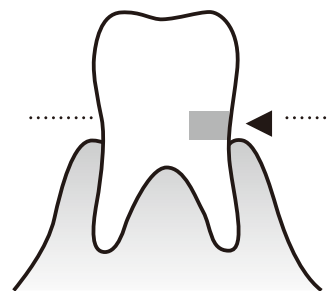
過去に治療した詰め物や、かぶせた冠（かん）のまわりから発生するむし歯のことです。詰め物や冠のまわりには、むし歯の原因となるプラーク（菌垢）が付着しやすく、むし歯になりやすい状態にあるんですね。

そしてふたつめが「根面（こんめん）う触」。歯の根元（根面）に発生するむし歯です。歯周病や歳をとることにともない歯の根元が露出し、そこにむし歯ができてしまうのです。この部分はエナメル質に比べ、軟らかくて弱いため、

二次う触（左）と根面う触（右）



詰め物や冠のまわりにはプラークが付着しやすい



歯ぐきが後退し、象牙質（ぞうげしつ）の部分が露出する

むし歯になりやすいのです。大人になっても「むし歯のリスク」は一生つきまとうというわけです。しかも、むし歯だけならまだしも、年齢とともに歯周病になる人も増えていきます。

（加茂市歯科医師会）



クマ除け鈴（1個四百円）各施設で販売



今年には市内でのクマ目撃情報が多数寄せられております。山歩きや農作業などで山に入るときには、ラジオや鈴などの音の出るものを身につけて、くれぐれも注意してください。市では次の施設で「クマ除けの鈴」を一個四百円で販売しています。

販売場所 市役所、市民サービスセンター（上町）、加茂土産物センター、公民館、図書館、文化会館、各コミユニティセンター、加茂美人の湯、かも川荘、ゆきつばき荘、勤労青少年ホーム、冬鳥越スキーガーデン
問い合わせ 市役所農林課、総務課

第36回全日本学童軟式野球大会中越大会予選会

期日 5月3・4日
会場 七谷野球場
出場チーム 5チーム
優勝 ライジング加茂
準優勝 七谷ベアーズ
第68回加茂市少年野球大会
期日 5月5日
会場 七谷野球場
出場チーム 4チーム
優勝 田上中学校
準優勝 葵中学校

三カ月で出来た 若宮中学校校歌

若宮中学校は昭和三十年（一九五五）四月一日に、加茂中学校の分校から独立して開校した。校歌は同年十一月十一日の開校記念式に合わせて制定された。市内の中学校では二番目に早い。

この年の七月に開校記念事業実行委員会（委員長長川口徹治PTA会長）が組織され、八月十二日の委員会で校歌制定が決められた。作詞者堀口大学が来校し、夕暮迫る若宮中学校に立ち詩想を練った

のが九月五日。翌日、生徒との対談で「加茂は少年の日の思い出の地」と語る。月末の二十八日に歌詞が到着、十月二十七日に楽譜が学校に届いた（「学校沿革史」）。制定決定から完成まで僅か三月足らずのスピードに関係者の努力が偲ばれる。

作詞の堀口大学（一八九二〜一九八一）は東京生まれだが長岡で育ち、長岡中学校（現長岡高校）では小説家松岡譲と机を並べた文

化勲章受章者。長岡の神田小学校、三条第一中学校、五泉中学校など県内で多くの校歌を手がけた。作曲は岡本敏明（一九〇七〜七七）で宮崎市生まれの東京音楽高等学校（現国立音楽大学）卒業。母校と玉川大学で長く教鞭をとった。合唱曲「どじょっこふなっこ」のほか神奈川県下の校歌を作曲したが、県内では若宮中学校以外見当たらない。

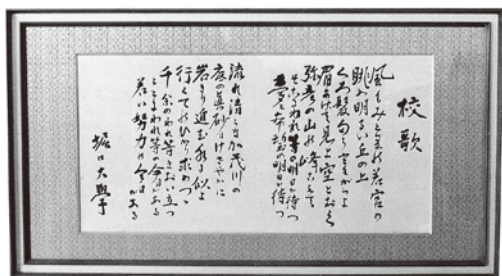
十一月十日の開校記念式前夜祭の提灯行列では、全校生徒・教職員・父兄等が「市民の祝福を浴びつつ花火のひびきに校歌の合唱を合わせながら」市街を行進した。帰校後も余韻は収まらず三年生を中心に前庭中央でファイヤーストームを囲み「紅蓮の炎を仰ぎつついつまでも新校歌を高唱して感激はつきない」と校歌制定の喜びを「学校沿革史」で綴っている。

開校記念事業には校区から五十三万円余の寄付金が寄せられ、この中から作詞料五万円、作曲料二万円が支払われた。学校には堀口大学自筆の校歌額と十月二十五日の日付のある岡本敏明の楽譜が残る。

（長谷川昭一）

加茂の風土記

校歌額



開校記念式前夜の提灯行列の様子（「創立30周年記念誌」より）

あいちとく

社会福祉費寄付金
▼加茂市場協進会から 三万円

人口のうごき

5月1日現在
世帯 10,304 (+14)
人口 28,494 (-24)
男 13,827 (-2)
女 14,667 (-22)
()内は前月比
(4月異動分)
出生 10 (男6女4)
死亡 31 (男16女15)
転出 48 転入 45